

文化財管理センターの主な仕事

発掘

事前に遺跡があると周知されているところで開発が行われる場合、臼杵市教育委員会による調査を行います。遺構や遺物がはっきりと認められた場合は、発掘調査がはじまります。重機により表土を取りのぞくと、人力による地道な掘り下げがおこなわれます。遺物や遺構の確認を行い、遺物は持って帰り室内で整理作業を行います。遺構は壊れてしまうので、写真や図面に記録保存します。

1.調査前状況



2.機械掘削状況



3.遺構掘削状況



4.遺構平面図作成状況



5.空中写真撮影状況



6.調査完了



整理作業

発掘調査で出土した遺物は、きれいに洗浄し、どこから出たのかを一つ一つ検証しながら注記します。たくさんの破片の中から色や形を見ながら接合していき、パーツの無いところに石膏をいれて復元します。

1.洗い



2.注記



3.接合



4.復元 石膏いれ



報告書刊行

遺物は、原寸大の実測をおこないます。その後、遺物の実測図・発掘時に作成した遺構実測図・写真は報告書に掲載するため、デジタル化しトレースをおこないます。

5.実測



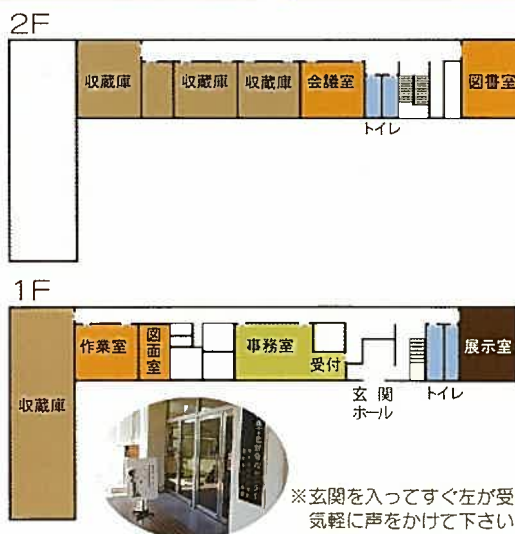
6.報告書



発掘調査で出土した遺物や記録した図面・写真類はどうしているのかな？



それは、全て保管して、いつでもフィードバックできるようにしています。



展示室案内

展示室では旧石器～古墳時代を中心に、臼杵の成り立ちや先人たちの暮らしがどうであったかをわかりやすく展示しています。

